

芦別小学校で「子ども110番緊急避難所」駆け込み実施訓練

4月22日、芦別小学校で「子ども110番緊急避難所」駆け込み訓練が1年生と4年生を対象に行われました。

芦別警察署、芦別防犯協会の協力で、子どもたちが登下校時などに、不審者に会ったときなど、犯罪に巻き込まれないための心構えを知ってもらおうと行われました。

1年生は、変な人や知らない人に会った時の対応方法を、防犯標語である「いかのおすし」を通して学んだあと、模擬訓練を実践しました。

4年生は、狭い道などですれ違う場合や、大声で助けると叫ぶことの重要性、走って逃げる方法などを学んだ後に実践訓練を行いました。



森を歩いてストレス軽減。森林療法講座を開催



5月12日、市民講座「森林療法講座」が旭川医科大学名誉教授の中村正雄さんの指導で開催されました。

旭ヶ丘公園で市民10人が参加し、中村教授から森林を歩くことで得られるリラックス効果について解説がありました。

森のかおりや起伏のある森林を歩

くと、有酸素運動ができ、緑の効果として安らぎや安心感がえられ、老化の進行や記憶の損失を抑えることができるなどの話がありました。

暖かい日差しの中、参加者は帯同する職員に樹木の名前や特徴を確かめたり、草花を眺めたりしながら森林散策を楽しんでいました。

星槎国際高生作曲のメロディー、JR芦別駅の放送案内に導入

5月16日、星槎国際高校芦別学習センターの生徒3人がJR芦別駅を訪れ、自分たちが作曲したメロディーが実際に当駅の放送案内に使用開始される様子を見学しました。

これは、昨年開設されたボランティアゼミが芦別市の活性化を目的に、市と連携して授業の一環として

行ったもので、これまでもゆるキャラの作成などの活動を行ってきました。

今回、生徒達が作曲したメロディーは4曲。改札開始をアナウンスする放送の前後にランダムで1曲ずつ流れます。放送を聴いた生徒らは嬉しそうな笑顔を見せていました。



J Tマーヴェラスの吉原監督らが、シーズン報告に来芦



5月16日、女子バレーボールチーム「JTマーヴェラス」の吉原知子監督ら5人が、シーズン報告のため市長室に訪れました。

4月に千葉県で開催を予定していたファイナルステージでは、新型コロナウイルス感染症の陽性者が複数人確認されたため中止になり、V

リーグの規定上で準優勝になったことや、今後の試合や新チーム編成などの話がありました。

昨年は芦別での合宿は中止となりましたが、今年は8月に芦別合宿を予定しているとのこと。

終了後、サポーターズクラブなどから記念品の贈呈がありました。